

令和6年度8月補正予算 説明資料

- ◎ 令和6年度8月補正予算 総括表 … 1
- ◎ 議案第 55 号
令和6年度境港市一般会計補正予算（第5号） … 2

令和6年度8月補正予算 総括表

【会計別一覧】

[単位：千円]

区分	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
一般会計補正予算（第5号）	19,745,312	72,188	19,817,500

○一般会計補正予算（第5号）

[単位：千円]

番号	担当課	費目	事業名	補正額	財源内訳				
					国	県	市債	その他	一般財源
1	観光振興課	2.1.11	【新規】AI活用型オンデマンドバス実証運行事業	73,756	38,127	17,814			17,815
2	観光振興課	2.1.11	市民バス運行事業	96					96
3	観光振興課	2.1.11	市民バス整備事業【減額補正】	△1,664					△1,664
計				72,188	38,127	17,814	0	0	16,247

前年度繰越金

○債務負担行為補正（追加）

[単位：千円]

番号	担当課	事項	期間	限度額
1	観光振興課	AI活用型オンデマンドバスシステム運用に係る使用料及び保守料	令和7年度～令和9年度	23,760
2	観光振興課	AI活用型オンデマンドバス運行に係る委託料	令和7年度～令和9年度	196,998

○債務負担行為補正（廃止）

番号	担当課	事項	期間	限度額
1	観光振興課	市民バス用車両賃借料	令和7年度～令和10年度	契約に定める額

◎一般会計補正予算（第5号）

[単位：千円]

事業名	【新規】 A I 活用型オンデマンドバス実証運行事業							
担当課	費目	項目	事業費	財源内訳				一般財源
				国	県	市債	その他	
観光振興課	2.1.11	補正額	73,756	38,127	17,814			17,815
節別内訳	金額	◇説明 国の補助金「共創モデル実証運行事業」により、A I 活用型オンデマンドバスを導入し、実証運行を行う。						
10 需用費	835	[A I 活用型オンデマンドバスとは] 電話やスマートフォンアプリ等からの予約状況に基づき、A I がルートを作成し、各乗降場所で利用者を乗り降りさせながら市内を運行する新しい公共交通。						
11 役務費	405							
12 委託料	39,620							
13 使用料及び賃借料	1,980							
17 備品購入費	30,547	◇目的 はまる一ぷバスが抱える所要時間や運行本数、他交通機関との接続などの課題を解決し、利便性向上を図る。						
25 公課費	369							
		◇実証運行の内容 ・運行車両 6台（10人乗りワゴン車） ※乗客定員8人 ・運行区域 市内全域 ・乗降場所 約200箇所 ※はまる一ぷバスの113箇所から増加 ・運行期間 令和7年1月から3月まで（3か月間） ※この期間は、はまる一ぷバスも並行して運行						
		◇スケジュール 8月～9月 車両購入及び配車システム構築、運行委託に係る入札及び契約 11月～ 乗り方教室等、住民への周知活動 1月～3月 実証運行 3月31日 はまる一ぷバス運行終了予定 4月1日 A I 活用型オンデマンドバスに移行予定						
		◇補正内容						
項目	内容							補正額
需用費	ラミネートフィルム、プリンタートナー等消耗品費							109
	チラシ、ポスター、ガイドブック等印刷製本費							726
役務費	配車システム用タブレット端末通信費							220
	市報折込手数料、自動車保険料等							185
委託料	配車システム構築業務委託							24,167
	運行・電話受付業務委託（3か月分）							15,453
使用料及び賃借料	配車システム使用料（3か月分）							1,980
備品購入費	運行用車両6台							29,947
	配車システム用タブレット端末6台							600
公課費	自動車重量税6台分							369
	合計							73,756
	◇財源 国庫支出金 事業費5,000千円までは10/10、これを超える部分は2/3 ※国の予算が上限に達したため、配当額は25%減額 県支出金 国庫支出金を除いた事業費の1/2 あわせて、債務負担行為を設定する。							

事業名		市民バス運行事業															
担当課	費目	項目	事業費	財源内訳													
				国	県	市債	その他	一般財源									
観光振興課	2.1.11	補正額	96					96									
7 報償費	96	◇説明 A I 活用型オンデマンドバスの導入に関する説明及び運賃の検討、実証運行の状況報告等を行うため、境港市地域公共交通会議の開催回数を増やすことに伴い、不足する報償金を補正する。 ※本年度3回開催予定（当初予算1回分、今補正2回分）															
		◇補正内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>補正額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>境港市地域公共交通会議委員報酬 3千円×16人×2回</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table>							項目	内容	補正額	報償費	境港市地域公共交通会議委員報酬 3千円×16人×2回	96		
項目	内容	補正額															
報償費	境港市地域公共交通会議委員報酬 3千円×16人×2回	96															
事業名		市民バス整備事業【減額補正】															
担当課	費目	項目	事業費	財源内訳													
				国	県	市債	その他	一般財源									
観光振興課	2.1.11	補正額	△ 1,664					△ 1,664									
13 使用料及び 賃借料	△ 1,664	◇説明 はまるーぷバス用車両をリース導入するための賃借料として、当初予算に計上したものだが、A I 活用型オンデマンドバス導入に伴い、不要となるリース料を減額補正する。															
		◇補正内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>当初予算額</th> <th>補正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>はまるーぷバス用車両リース料 118,800円×7か月×2台</td> <td>1,664</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							項目	内容	当初予算額	補正後	使用料及び賃借料	はまるーぷバス用車両リース料 118,800円×7か月×2台	1,664	0
項目	内容	当初予算額	補正後														
使用料及び賃借料	はまるーぷバス用車両リース料 118,800円×7か月×2台	1,664	0														
		あわせて、当初予算に計上した債務負担行為を廃止する。															

○債務負担行為補正（追加）

[単位：千円]

事 項	A I 活用型オンデマンドバスシステム運用に係る使用料及び保守料	
担当課	期 間	限 度 額
観光振興課	R 7年度～R 9年度	23,760

◇説明 A I 活用型オンデマンドバス運行のために整備する配車システムのプログラム使用料及び保守料。

◇限度額 年額 7,920千円 × 3年分

事 項	A I 活用型オンデマンドバス運行に係る委託料	
担当課	期 間	限 度 額
観光振興課	R 7年度～R 9年度	196,998

◇説明 A I 活用型オンデマンドバスの運行及び電話受付業務委託料。

◇限度額 年額 65,666千円 × 3年分

○債務負担行為補正（廃止）

事 項	市民バス用車両賃借料	
担当課	期 間	限 度 額
観光振興課	R 7年度～R 10年度	契約に定める額

◇説明 市民バス整備事業の減額補正に伴い、当初予算で計上した車両リース料の債務負担行為を廃止する。